

これまでの検討内容と駅周辺の考え方

中津川市リニアのまちづくりビジョン(平成 25 年 8 月) 中津川市

リニアのまちづくりの顔となる「リニア駅と駅周辺」の基本的な考え方

■豊かな自然、文化や景観など「清流の国ぎふ」「なかつがわらしさ」  
が感じられる「リニアのまちづくりの顔」となる駅と駅周辺

■交通結節点として便利で利用しやすく、  
必要な機能がコンパクトにまとまった駅と駅周辺

リニア岐阜県駅周辺整備基本計画(平成 27 年 3 月) 岐阜県

駅周辺整備の基本方針

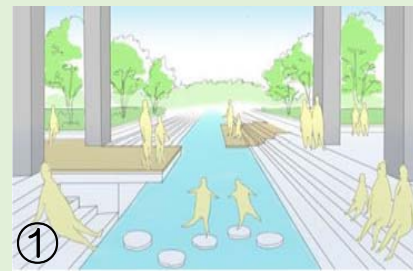
■岐阜県の東の玄関口としての駅・「清流の国ぎふ」を感じさせる駅  
■にぎわいのある駅

■コンパクトかつ交通結節機能を重視した駅  
■利便性に優れた駅

基本コンセプト検討の視点 (事務局案)

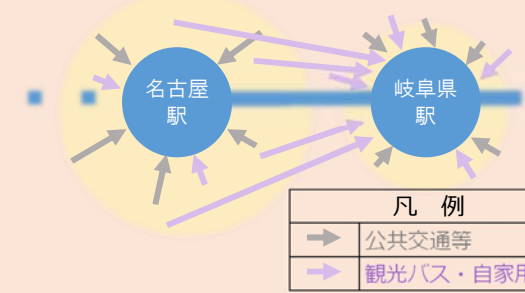
【景観・環境デザイン】

- ①千旦林川を活用し、「清流の国ぎふ」のイメージをアピールできる親水性のある空間づくり
- ②駅からの眺望を重視し恵那山などの自然景観との融合した駅前空間
- ③都会からの「ギャップ」を創出
- ④地元の素材を活用し、地域の魅力を発信
- ⑤リニア利用者と地元住民が集う賑わい空間を創出



【広域交通拠点における空間デザイン】

- ①コンパクトな空間に必要な機能を備えた、利用しやすい駅や駅前広場
- ②駅利用者が二次交通と円滑に乗換できる交通結節機能
- ③駅利用者のニーズに対応した段階的な整備
- ④技術革新(自動運転など)を踏まえた交通空間の構築
- ⑤利用規模に応じた「名古屋駅」との機能分担



※名古屋駅の観光バスや乗用車の駐車規模を想定し、名古屋駅に駐車できない需要を岐阜県駅に誘導し、受持つことで利用客増につなげる。

- ⑥各種施設・空間の多機能化(イベント時・災害時など)

